

(仮 訳)

プレス・リリース

2012 年 7 月 2 日
バーゼル銀行監督委員会

バーゼル銀行監督委員会が日中流動性管理のモニタリング に関する市中協議文書を公表

バーゼル銀行監督委員会(以下、「バーゼル委」)は本日、『日中流動性管理のためのモニタリング指標に関する市中協議文書』を公表した。

日中流動性とは、営業時間中にアクセスが可能であり、通常、金融機関が即時に支払いを行うことができる資金、と定義される。本日公表した指標案は、銀行監督当局が、平常時およびストレス状況下の両方において、銀行の日中流動性リスク管理および迅速な支払・決済債務の履行能力に関するモニタリングを企図したものである。こうした取り組みを続けることで、監督当局は、指標を通じて銀行がどのように支払・決済を行い、日中流動性リスクを管理しているかについて一層の理解を得られるだろう。

本市中協議文書で提示されたモニタリングの枠組み案は以下の点を含んでいる。

- 銀行の日中流動性リスクに係るモニタリング指標の詳細
- ストレスシナリオ
- 適用に関する主要な問題
- 報告の枠組み

こうした指標案の使用は、バーゼル委が 2008 年に公表した『健全な流動性リスク管理及びその監督のための諸原則』に示された日中流動性リスク管理への指針を補完するものである。

当市中協議文書に対するコメントは、2012 年 9 月 14 日(金)までの間、baselcommittee@bis.org 宛電子メールで受け付ける。または、the Secretariat of the Basel Committee on Banking Supervision, Bank for International Settlements, CH-4002 Basel, Switzerland 宛郵送でも受け付ける。全てのコメントは、コメント提供者が明示的に非公開を望まない限り、国際決済銀行のウェブサイト公表される。